

# ひかり野

## Saga University Library Bulletin

No.36

August 2012



# 目次

## CONTENTS

本を読むということ 館長 .....	1
書籍電子化の流れと大学図書館 副館長 .....	2
学生の読書力向上のために .....	3
さらりーず(学生選書)の活動 .....	4
ライブラリーラバーズ(Library Lover's Week)の活動 .....	5
図書館ホームページをリニューアル .....	5
貴重書の電子化 .....	6
「栞づくり」を開催 (オープンキャンパス) .....	6
平成23年度図書館月間を開催 .....	7
除籍図書の無償譲渡 .....	7
収蔵力を大幅アップ .....	8
防災訓練を実施 .....	8
受入資料紹介 .....	9
図書館統計 .....	11
人事異動 .....	15
図書館日誌(行事・会議・研修等) .....	15
貴重書紹介	



## 本を読むということ

館長 稲岡 司

ちょっと異例となったかもしれませんが、2期目の館長をやることになりました。2年前に就任してから2年では人や仕事を覚えるだけでちょっと短すぎると思っていたので、2期目というのは大変有難かったのですが、その反面、責任というものも強く感じております。

そもそも2期目に突入したのは、図書館課の職員の皆さんの努力が学長等に認められたからに他なりません。「年間1人あたりの本の貸出冊数」という指標は大学ランキングにも使われるのですが、佐賀大学は長い間Gグループと言われる国立大学25校の中で(4冊/年)と下から2番目でしたが、ここ2年で(6冊/年)と50%アップし、大学ランキングでは「中の下」くらいにまで上昇したのです。この理由は正直言って分からないのですが、図書館課の職員の皆さんが「上げる佐賀48 (AGS48)」というAKB48に似ているプロジェクトを立ち上げ、皆で貸出冊数に影響しそうな要因を考えて、それに対する対策をできるところから実行した、その積み重ねがこのような成果に繋がったのだと思っております。勿論、「本の貸出冊数を上げて何になるのか」、「本当に本を読んでいるのか」という本質的な議論も有るのですが、それでも、職員が目指した結果に繋がって、それが今もなお続いている(目標はプロジェクト名が示すように4冊から8冊の倍増です)というところが素晴らしいと思います。

今の大学生が育った頃の「デジタル環境」は僕ら中高年が育った頃と大きく異なっており、彼らが小学生の時にはインターネットが存在し、中学では携帯電話の所持が当然のこととなり、また高校では必修教科として「情報」を履修し、今では日常的にネットでブログやFacebook、Twitterなどで簡単に情報発信をしているのです。そんな大学生がまたアナログの書籍を手に取り、読んでくれるというのは大変嬉しい次第です。なお、「最近の若者は本を読まない」とは巷でよく聞かれますが、信頼できる読書調査によると、歳がいくほど本を読まなくなるそうで、実際は若者が一番本を読んでいるそうです。

昨今、大学図書館も大学の学術情報基盤として、学術研究の高度化・多様化と国際的な展開に対応して、様々な機能が求められるようになりました。図書館が扱うモノ(書籍・雑誌・資料)の多くがデジタル化されて、ネットワークに乗るようになったからですが、そのために規則や手続きが複雑になり、コストもかかるようになりました。1人のユーザーとして見れば、欲しい情報が瞬時に簡単に手に入れることができるので大変便利なのですが、このようにして収集したモノ(デジタル化した書籍・雑誌・資料)をどれだけ読んでいるかと言えば、大変お寒いものです。それならば、苦労して手に入れたモノを、実際に手に取って眺め、あの何とも言えないインクの臭いを嗅ぎながら読み進めていくのも満更悪くないと思うのですが、皆さまはどう思われるでしょうか？



## 書籍電子化の流れと 大学図書館

副館長 田中 恵太郎

昨今の書籍電子化の流れは、本屋で書籍を手取る事が少なくなった私にとっては、改めて「手軽」に、「便利」に、「安価」に本を読める機会を与えてくれる事になった。iPhone を持っていれば、無料の青空文庫に含まれている何百冊という本を持ち歩き、今はまだ限られているが、単行本、新聞、雑誌あるいは漫画さえも焼鳥屋で一杯やりながら気軽に読む事ができる。医学論文についてもダウンロードしておけば、実際上ほぼ制限のない数の論文を持ち歩き、どこでも参照する事が可能になる（さすがにこれは飲み屋ではやらないが・・・）。また、研究面では大学の部屋にいながら、電子ジャーナルにアクセスし、必要な論文の大部分を自分の部屋のコンピューター端末で手に入れる事ができるようになった。電子ジャーナルは非常に便利であり、おそらく以前の様に冊子で閲覧するよりも、この形式の方を望まれる研究者の方が多いものと推察する。教室で購読している海外雑誌も、経費が節約できる場合は、冊子体はやめて電子ジャーナル単独のオプションを選択するようになった。

このような書籍電子化の流れは、多かれ少なかれ、今後の大学図書館のあり方に影響を与えると考えている。電子化を行えば、大幅な書架のスペースの節約を図る事ができる。今後の書籍は、必要に応じて電子書籍の形態で購入し、図書館の中に設置された有線・無線の端末から適宜同時に複数の利用者が閲覧できるようになるかもしれない。貸借状況を気にする事なく、端末で自由に必要な教科書や資料を閲覧しながら学習できる環境は、学生にとっては魅力的であろう。また、スペースの制約からそれまで開架で利用できなかった佐賀大学で眠っている歴史的に貴重な資料や書籍も、電子化の手間と費用を厭わなければ、自由に系統的に閲覧できるようになるかもしれない。ただ、電子ジャーナルについては便利な反面、各雑誌を出版社が独占していて競争原理が働かず、出版社が主導的に毎年値上げを言ってくる頭の痛い問題がある。佐賀大学では平成24年度は約7千万円を中央経費から負担する予定で、今後も毎年4%の値上げが続くそうだ。また、現在の契約形態では仮に契約を中止するとバックナンバーも利用できなくなり、事実上止める事ができないのだと言う。

一方、紙媒体の書籍は当面主流であり、特に図書館外への貸し出しには著作権の問題も絡むであろうから、紙媒体の書籍は必要であり続ける様に思われる。特に歴史的に貴重な書籍や資料については、やはりその書籍を手にとって読む行為そのもの（本の汚れや破れなど全てを含めて）が意味をなすであろうから、特にその様な思いの強い研究者には関連する書籍を開架で閲覧したいという希望は強いだろう。また、開架で閲覧している本はその題字を見て自由に手を伸ばして内容を見ることができ、思いがけない新たな本と出会えるという醍醐味がある。一方でスペースはどんなに増やしても必ず不足してしまうという実状は続くであろうから、紙媒体の書籍の何を開架で閲覧に供し、どの様に配置するかは選択せざるを得ないという事になる。専門書に偏れば閑散とした図書館になってしまい、一般受けのする新書や雑誌などに偏れば大学図書館としてみすばらしいものになるであろう。この辺に、その大学図書館の特色を打ち出せるかどうかという点が重要なかもしれない。

## 学生の読書力向上のために

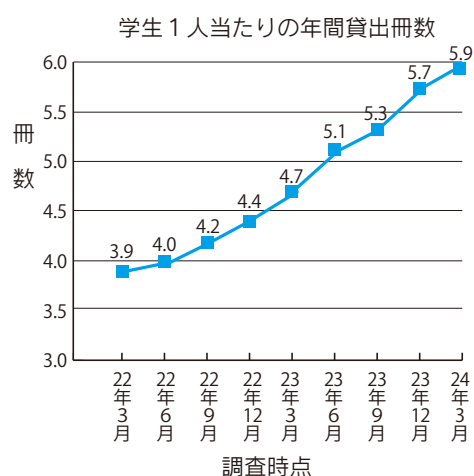
佐賀大学の学生一人当たりの年間貸出冊数が4冊というショッキングな数値を改善すべく、「上げる佐賀48」という館内プロジェクトを平成22年度に起ちあげました。23年度も引き続き学生の読書力向上のため、いろいろと施策を行いました。

### 1. 施策

- ① 教育、人文、農学系の図書を集中的に購入し配架しました。
- ② 新着図書展示で並べ方(平積み等)、装飾(ポップ等)を工夫し、手に取りやすくしました。
- ③ 学生選書委員による選書を継続して推進し、学生選書コーナーを充実しました。
- ④ 古い図書を書庫に移して、開架の書棚に新しい本が並ぶようになりました。

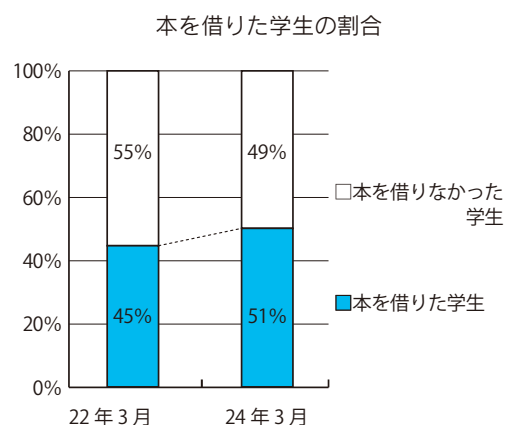
### 2. 現在の状況

平成22年3月より、毎月、直近1年間の学生1人当たりの年間貸出冊数を調査し、月報値として、全職員でその情報を共有するようになってきました。貸出冊数は平成24年3月には調査開始時の3.9冊から1.5倍の5.9冊となりました。



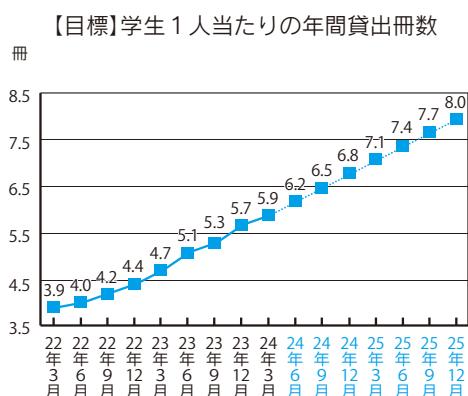
### 3. 本を借りた学生の割合

図書館から本を借りた学生と、借りなかった学生の割合を見ると、調査開始時には、本を借りた学生の割合が、借りなかった学生より低かったが、24年3月は逆転し、借りた学生の方が高くなっています。



### 【今後の目標】

今後も、学生の読書力の向上を図り、2年後の平成25年12月には、学生1人当たりの年間貸出冊数8冊(平成22年3月の約2倍)を目指します。



## さらりーず(学生選書)の活動

読書奨励企画として、昨年に引き続き、今年も学生参加型の企画である学生選書の活動を行いました。今年で7回目となるこの学生選書の活動は、昨年から名称を「さらりーず」と変え、より親しみやすくなるよう心がけています。

メンバーは16名集まり、選書ツアーをはじめとし、本の展示、活動紹介の冊子作成、職場体験などいろいろな活動をしました。

恒例の学生選書ツアーは、学生の希望で今回は福岡で2回実施しました。1回目は Junk 堂福岡店で選書、九州国立博物館の見学を行いました。2回目は、紀伊国屋書店福岡本店で行いました。選書では、「他の学生にも読んで欲しい本を選んだ」「図書館を明るく活気よくするために、見た目があざやかな本を選んだ」などの声がかかれました。後日、さらりーずミーティングを開催し、図書館の蔵書としてふさわしいか審議。今回の学生選書では、420冊の図書の購入が決定しました。



今年の活動で特に紹介したいものは、編集委員が作成した冊子「〇〇さらりーず」です。さらりーずの一年間の活動を紹介したもので、委員の企画・アイデアにより、学生の視点で書かれた素晴らしいものができあがりました。図書館内の目につく場所に貼ったり、広報誌「さらり」に掲載したりなどし、大変好評を得ています。



学生選書で選ばれた図書は、本館、医学分館の特設コーナーに配架され、人気の高いコーナーとなっています。また、この企画によりさらりーずメンバーからの図書館に対する考えや意見などを知ることができ、よりよい図書館づくりにつなげることができることから、今後も継続して行っていく予定です。

## ライブラリーラバーズ(Library Lover's Week)の活動

ライブラリーラバーズの活動は、2010年の国民読書年からスタートした活動で、図書館を、様々な本や知識、そして人との出会いの場にしたいというコンセプトのもと、九州地区の国公立大学・高専図書館が行う合同イベントです。

2011年の参加館の合同企画は、図書館を利用する皆さんと一緒に育てる「読書の木」のイベントを実施しました。このイベントは、葉っぱの形をした応募用紙に、読んだ本についてのコメントを書き込み、各館に展示した木の幹に貼り付けていくことで、みんなで「読書の木」を成長させていく、という活動でした。

ライブラリーラバーズ活動は、2012年も実施準備中です。さらに楽しいイベントになるように職員が一丸となつてがんばりますので、ご期待ください。



ライブラリーラバーズ2011ポスター



読書の木(本館)



読書の木(分館)

## 図書館ホームページをリニューアル

平成24年3月1日から新しいホームページが利用できるようになりました。図書館ホームページのリニューアルに際し、より利用しやすいホームページにすること、ホームページ管理者が簡単に情報の更新ができるようにすることを目的に、全面的にリニューアルを行いました。

利用面では、利用者が必要とする情報に適切にグローバルメニューからたどれるように情報の整理を行い、管理面でもコンテンツマネジメントシステム(CMS)を導入し、担当者の情報更新にかかっていた作業負担を軽減することができました。また、アクセス解析の仕組みを取り入れ利用状況の把握ができるようになりました。これからも利用状況等を参考にページの見直しを行い、より利用しやすいページにしていきたいと考えています。

また、トップページには、平成24年1月から開始した図書館ツイッターのツイート情報が表示されるようにしました。ツイッターでは、新刊本の入荷情報、資料の配架案内など、図書館からのさまざまな情報を発信しています。今後とも図書館ホームページをご活用ください。



図書館ホームページ



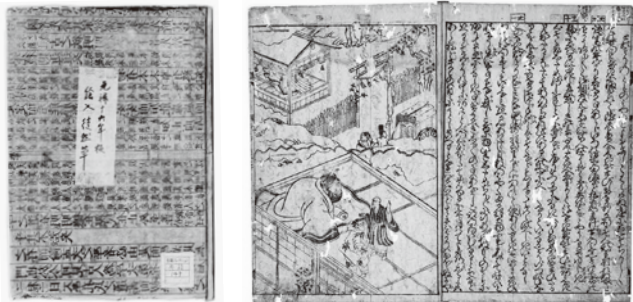
図書館ツイッター

## 貴重書の電子化

平成23年度は市場直次郎コレクションの中から、兼好法師ことト部兼好が著した「つれづれ草」など、文学(国文)に分類される以下の31点の電子化を行い、佐賀大学附属図書館「とんぼの眼」において公開しました。

異国奇談和莊兵衛	入船帳忠義之湊	一読一驚妖怪府
風来六部集	昔語忠義之朱達満	JAPANESE FAIRY TALES URASHIMA
通者茶話太郎	昔々歌舞伎物語	お伽噺日本種玉とり
太平記餅酒合戦	大川とのもちだるま物語	広島八景心願成就
鉢かつき物語	鳥追阿松海上新話 前編	絵入徒然草
大通世界	関口丈七写真阿若新編伊香保土産初編	つれづれ草
昔織博多小女郎	白菖阿繁顛末初編	東湖随筆
狂言綺語古今化物評判	開化の入口	まつらのいへづと
女護島恩愛俊寛	巷説兎手柏二編	飛驒の山ふみ
菊の井小七孝貞両岸一覧	今古実録第五号六巻佐倉義民伝	思ひのつき穂
彦三小金籬節四季の賛歌		

ぜひ「とんぼの眼」貴重書コレクション  
<http://www.dl.saga-u.ac.jp/OgiNabesima/>  
 <<http://www.dl.saga-u.ac.jp/OgiNabesima/>>でご鑑賞ください。



絵入徒然草

## 『栞づくり』を開催(オープンキャンパス)

平成23年度のオープンキャンパスは8月10日に実施され、4,334名の方に参加いただきました。

医学分館では、来学者の方の待ち時間を利用して、手作りの栞をつくるイベントを実施しました。このイベントにはたくさんの高校生や保護者の方が参加くださいました。

平成24年度もイベントを実施予定ですので、オープンキャンパスにお越しの際は、ぜひ図書館にもお寄りください。



オープンキャンパスの様子



## 平成23年度図書館月間を開催

附属図書館では、地域に根ざした生涯学習の拠点としてサービスを提供するという目的のもと、毎年11月を図書館月間として催しを行っています。平成23年度は、「佐賀の陶芸—過去・現在・未来—」というテーマで、2回の講演会を附属図書館4階会議室で開催しました。

日 時：11月15日(火) 14:00～15:30

講演者：元佐賀県立博物館・美術館副館長 吉永陽三氏

陶芸家 「姫の窯」窯元 寺崎康子氏

演 題：「現代陶芸の特質(シンプル・シャープ・クリアー・ヴァイタリティ)

—日展女流陶芸家・寺崎康子の場合—

日 時：11月18日(金) 14:00～15:30

講演者：佐賀大学 文化教育学部 美術工芸講座 准教授 田中右紀氏

演 題：「有田・唐津焼と私の作品」



11月15日風景



11月18日風景

## 除籍図書の無償譲渡

附属図書館本館では、重複や保存の必要が無い等の理由により除籍した図書の再利用を目的として、無償譲渡を実施しています。平成23年度は、約2万3千冊の除籍図書を6回に分けてエントランスホールに並べ、本学の学生・教職員、一般利用者の方に先着順でお持ち帰りいただきました。今後も計画的に図書の除籍を行い、無償譲渡を実施しますので、どうぞご利用ください。



## 収蔵力を大幅にアップ

附属図書館では懸案であった収蔵力不足を解決するため、平成24年3月、本館2階書庫に集密書架を設置しました。この書架は約7万冊の収蔵が可能であり、収蔵力はこれまでの倍になりました。『西藏大蔵経(ちべつとだいぞうきょう)』や『国史大系』など哲学、歴史分野を中心に貴重な学術図書が真新しい書架に並んでいます。一般の方も利用できますので、ぜひご来館ください。



## 防災訓練を実施

附属図書館本館では、平成23年9月27日(火) 14時より、防災訓練を行いました。

佐賀市内において震度5強の地震が発生し、附属図書館において火災が発生したと想定して、実施しました。

2回目の防災訓練でもあり、昨年の反省点を活かして、図書館本館利用者(学生・一般市民) 32名にも参加して頂き、訓練を行うことができて、大変有意義でした。

医学分館でも、9月2日に図書館2階で火災が発生した想定で夜間の学生アルバイト職員や館内にいる利用者の方にも参加して頂いて訓練を実施しました。また訓練前に防災訓練ビデオ、訓練後はAED使用法についてのDVDの視聴も行い、有意義な訓練となりました。



本館



医学分館

## 受入資料紹介

### 学生用図書

平成23年度学生用図書費により、以下のとおり図書を購入しました。

教員推薦図書 2,095冊 学生推薦図書 407冊 図書館推薦図書 1,214冊 継続購入図書 515冊

### 寄贈図書

#### ○大学関係者著作図書

**名誉教授 生馬寛信**

[共著]佐賀新聞に見る佐賀近代史年表 明治編 下 / 佐賀近代史研究会編 佐賀新聞社

**文化教育学部准教授 後藤正英**

[共著]周縁学：「九州/ヨーロッパ」の近代 (モデルネ) を掘る /

木原誠, 吉岡剛彦, 高橋良輔編 昭和堂

**文化教育学部准教授 エーベル ギド ヨーゼフ**

[共著]Herausforderung und Chance : Krisenbewältigung im Fach Deutsch als Fremdsprache in Japan : beitrage zur DaF-Werkstatt Westjapan, Ryukyu Universitat, Okinawa, Japan, 12.-14.

Dezember 2003 / herausgegeben von Petra Balmus,

Guido Oebel und Rudolf Reinelt Iudicium

**工学系研究科教授 柴錦春**

[共著]Deformation analysis in soft ground improvement /

Jinchun Chai, John P. Carter Springer

#### ○その他

**文化教育学部准教授 中村隆敏**

原榮三郎回顧展 = Eizaburo Hara, a retrospective 原榮三郎回顧展実行委員会 他1点

**文化教育学部准教授 徳安和博**

時光新吾彫刻展：軌跡を描く兵士たち 時光新吾 他1点

**文化教育学部講師 井川健**

クラフトデザイン・ルネサンス 日本クラフトデザイン協会(日本クラフト展45回) 他6点

**経済学部教授 丸谷浩介**

社会法の基本理念と法政策：社会保障法・労働法の現代的展開：河野正輝先生・菊池高志先生  
古稀記念論 文集 / 河野正輝先生・菊池高志先生古稀記念論文集刊行委員会編 法律文化社

**低平地沿岸海域研究センター 外尾一則**

Proceedings of the 7th International Symposium on Lowland Technology :

Saga University, Saga, Japan, September 16-18, 2010, Saga /

organized by International Association of Lowland Technology,

Institute of Lowland and Marine Research, Saga University 他1点

**教養教育運営機構長 遠藤隆**

Graded Readers 318冊

**シンクロトン光応用研究センター長 鎌田雅夫**

グリーンナノテクノロジー：環境・エネルギー問題に挑戦する人々 /

ナノテクノロジー・ネットワーク編集委員会編 日刊工業新聞社

**中山文** 台湾女性研究の挑戦 / 野村鮎子, 成田静香編 人文書院**金慶淑** 닥성, 그 꿈에 물들다**大谷尚之** 産地組織のマネジメント:「コミュニティ」と「リーダー」が創り出す新たな地域農業/  
大谷尚之著 東北大学出版会**小路丸正夫** 貨物海上保険・貨物賠償クレームのQ&A / 小路丸正夫著 成山堂書店 他1点**内田盛也** 石油文明を越えて…: 歴史的転換期への国家戦略 / 内田盛也著 オフィスHANS**旗野嘉彦** Charged particle and photon interactions with matter : chemical, physicochemical,  
and biological consequences with applications / edited by A. Mozumder, Y. Hatano  
Marcel Dekker Charged particle and photon interactions with matter  
:recent advances, applications, and interfaces / edited by Yoshihiko Hatano, Yosuke  
Katsumura, A. Mozumder CRC Press**高崎由美** しょうちゃんのきょうのきもち / 高崎由美文 ; 金斗鉉絵 文芸社**松崎祐己** 佐賀県の絶滅のおそれのある野生生物(レッドデータブックさが) /  
佐賀県希少野生動植物調査検討会植物分科会編 2010 植物編)  
佐賀県くらし環境本部有明海再生・自然環境課**菊葉同窓会** ああ青春よ我にまた : 旧制佐高創立50周年記念大会 佐賀高等学校菊葉同窓会**市川澄子** 宇宙の詩 / 市川澄子著 他4点**和田健夫** 小樽商科大学百年史 / 小樽商科大学百年史編纂室編 学科史・資料編 通史編  
小樽商科大学出版会**関家敏正** 平和と幸せを求めて : 藤田秀雄先生97年の生涯 / 関家敏正編集責任 中浦妙子 他5点**学習院大学学長室経営企画課**

イギリス文学・文化論考 : ロマン主義を中心として /

松島正一著 (学習院大学研究叢書 40) 学習院大学

**山下達也** 植民地朝鮮の学校教員 : 初等教員集団と植民地支配 / 山下達也著 九州大学出版会

(敬称略)

# 図書館統計

〈平成24（2012）年3月31日現在〉

## 基盤統計

### 蔵書冊数

(冊)

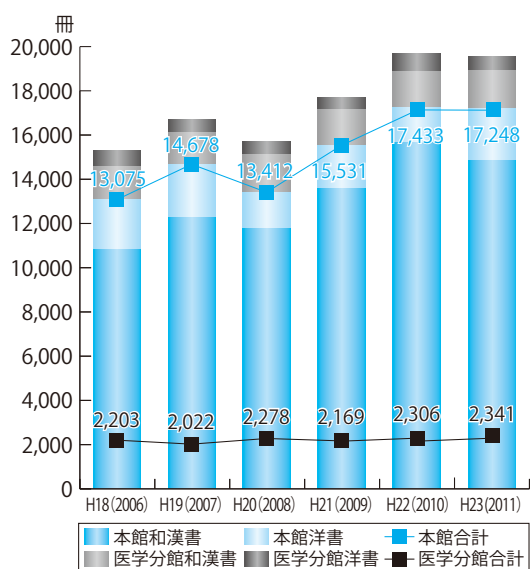
	和漢書	洋書	合計
本館	421,215	175,391	596,606
医学分館	66,427	45,400	111,827
合計	487,642	220,791	708,433

### 雑誌所蔵種類数

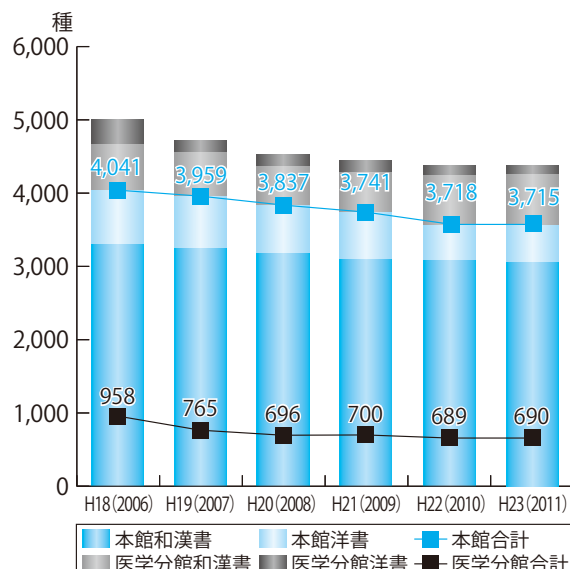
(種)

	和漢書	洋書	合計
本館	6,514	2,968	9,482
医学分館	1,224	1,116	2,340
合計	7,738	4,084	11,822

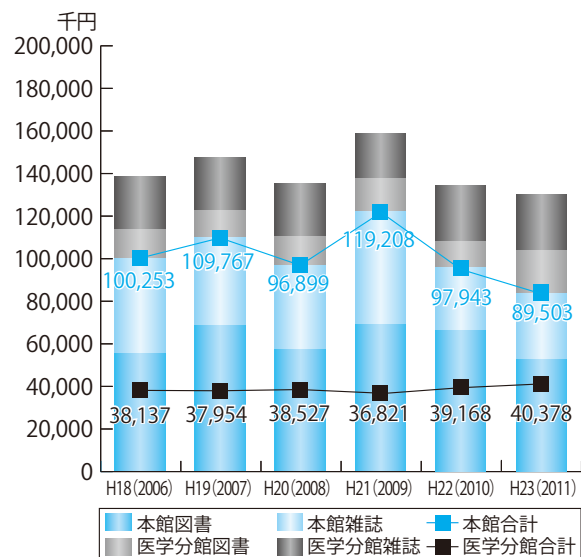
### 図書受入冊数



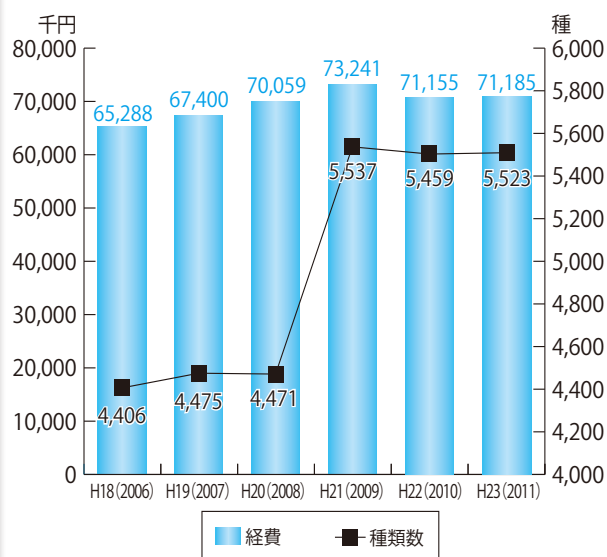
### 雑誌受入種類数



### 図書館資料費



### 電子ジャーナル経費と種類数



## サービス統計

開館日数

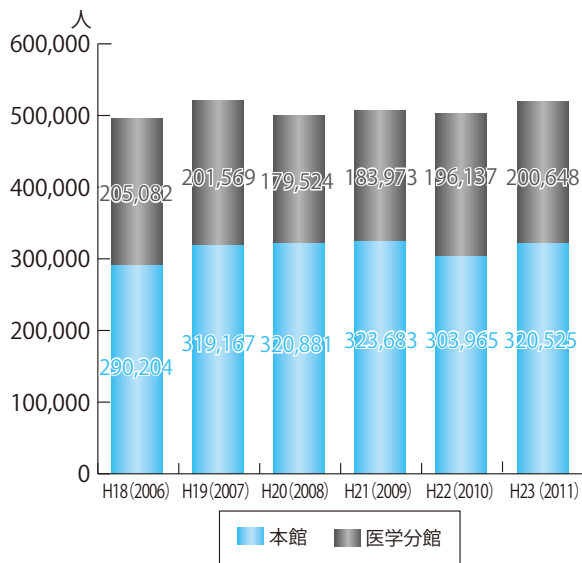
	本館	医学分館
平日	238	241
土・日・祝日	110	107
合計	348	348

(日) 利用対象者数

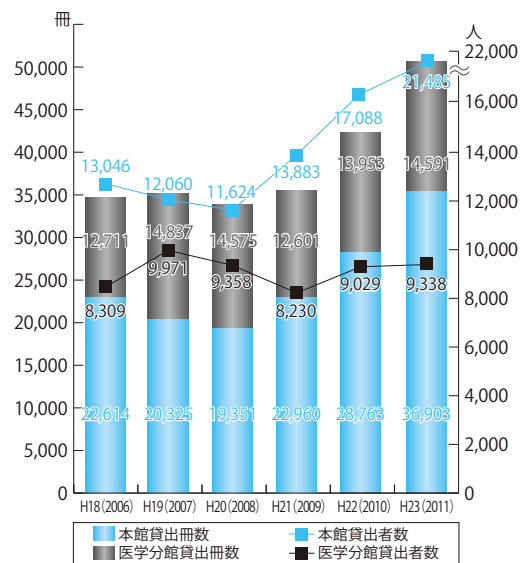
(平成24 (2012)年5月1日現在) (人)

	本館	医学分館	合計
学生	6,227	1,090	7,317
教職員	970	956	1,926
合計	7,197	2,046	9,243

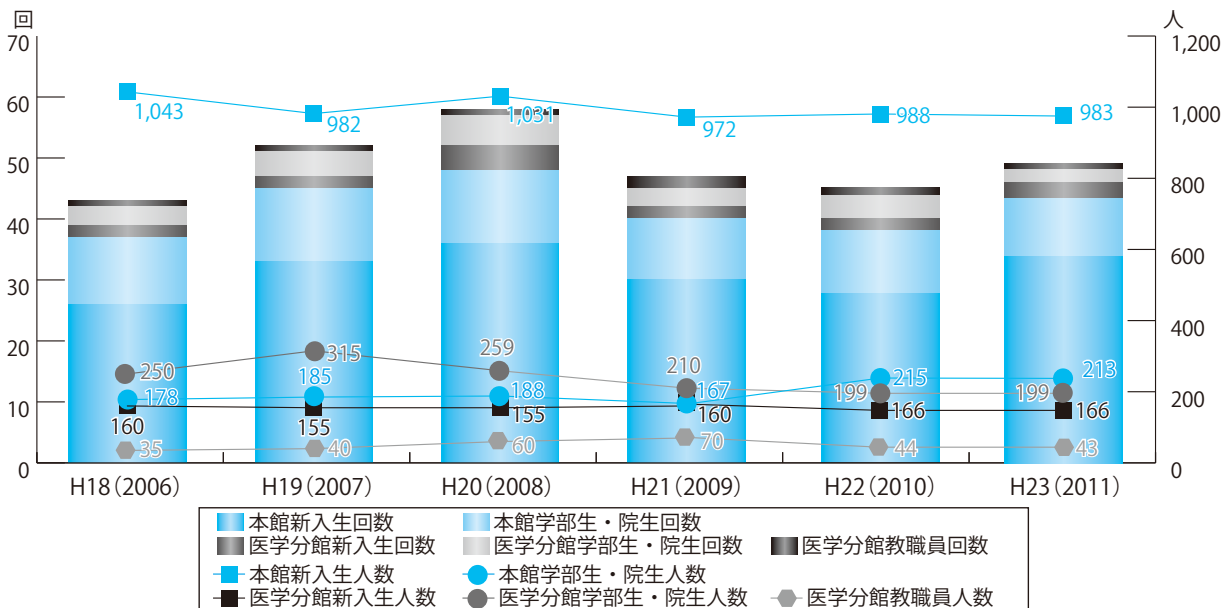
入館者数



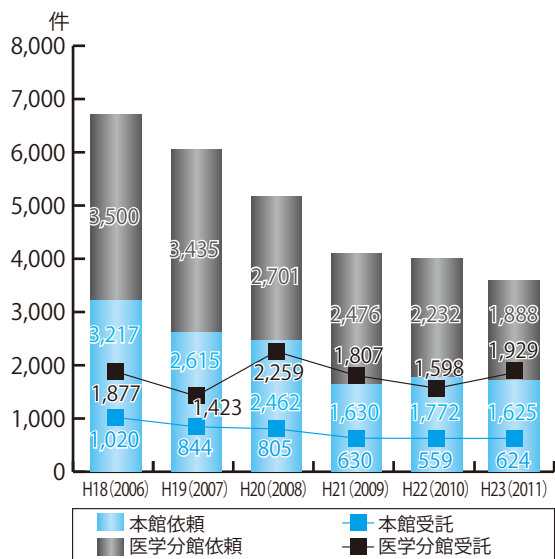
貸出冊数と貸出者数



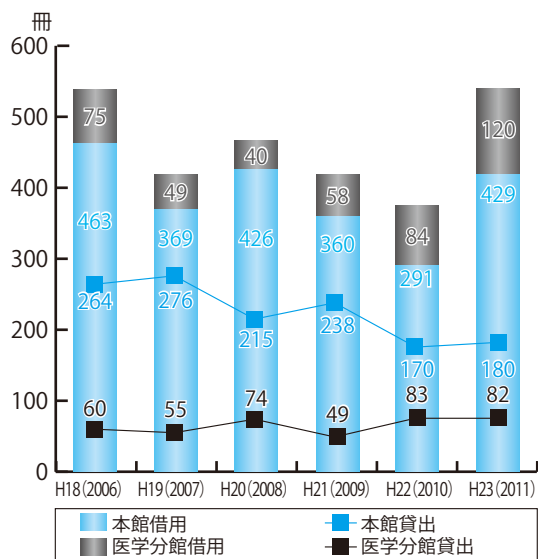
オリエンテーション(図書館案内)



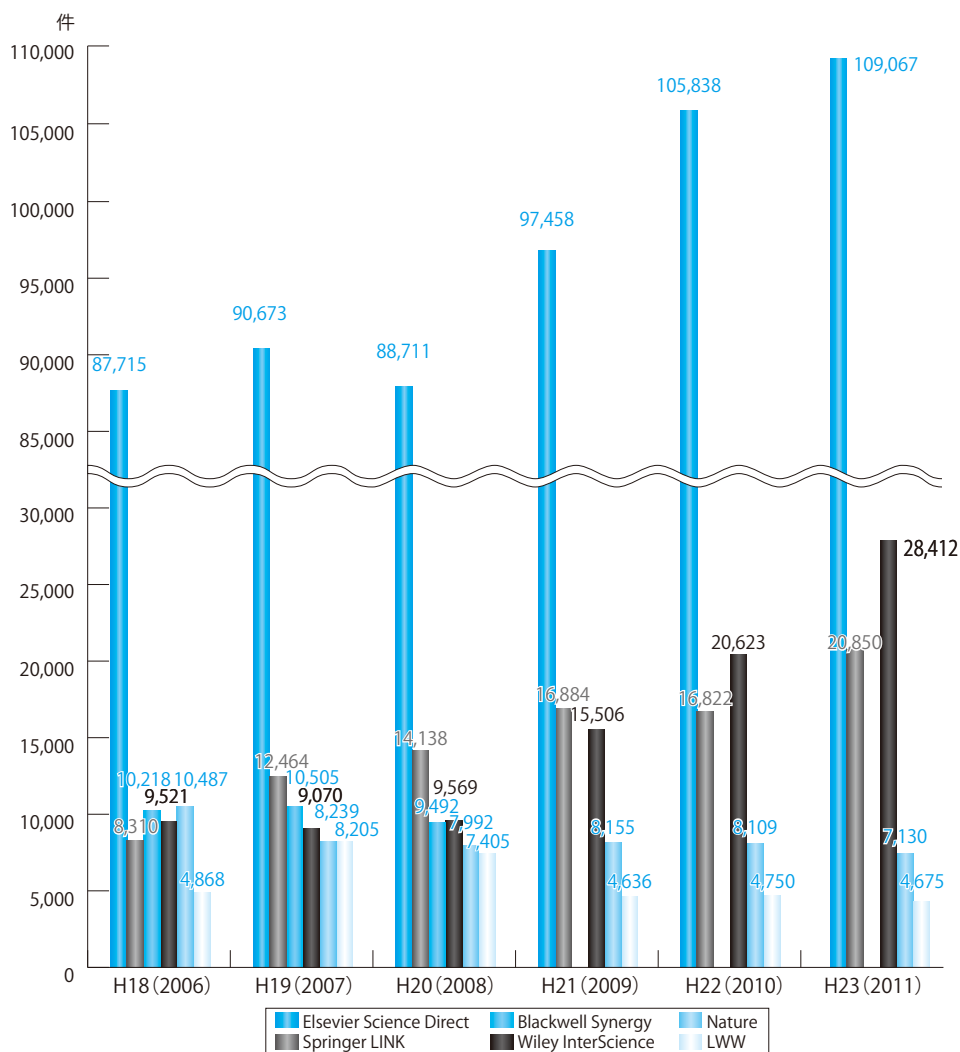
文献複写件数



相互貸借冊数



電子ジャーナル利用件数

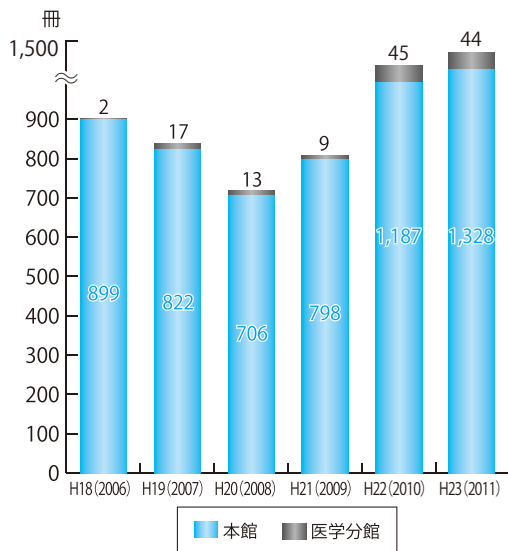


・LWWはH17(2005)契約中止 ・BlackwellとWileyはH21(2009)統合

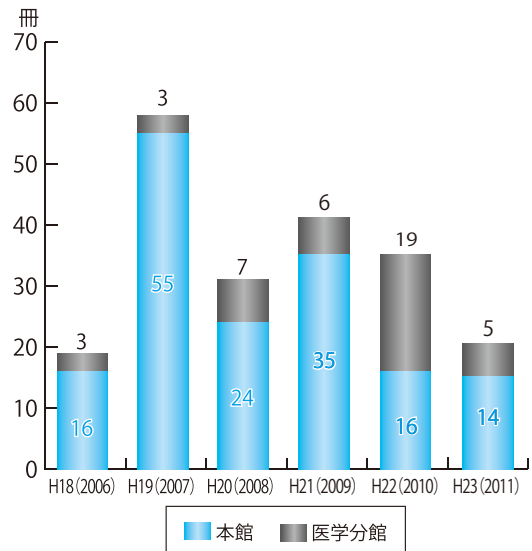
文献データベース利用件数

年度	CiNii	間蔵	ヨミダス歴史館	ジャパンナレッジ	ブックプラス	日経テレコン	日経BP記事索引	医中誌Web
H18 (2006)	(17,820)	700	/	/	/	—	/	(233,763)
H19 (2007)	11,294 (40,421)	595	/	/	/	—	/	(240,670)
H20 (2008)	14,145 (42,702)	759	/	/	/	(263,106)	(3,430)	(235,026)
H21 (2009)	12,750 (72,456)	928	/	/	/	(216,239)	(2,824)	(255,142)
H22 (2010)	21,901 (86,606)	1,240	(5,627)	398	609 (814)	(267,335)	(2,274)	17,172 (258,413)
H23 (2011)	21,149 (85,559)	1,126	(9,924)	300	520 (646)	(690,657)	(2,861)	17,509 (59,105)
年度	SciFinder	Academic Search Premier	Ovid	UpTo Date	Stat!Ref	Clinical Evidence	Cinahl	
H18 (2006)	4,470	/	15,659 (40,298)	5,117	/	—	—	
H19 (2007)	4,186	/	16,721 (36,578)	4,880	/	—	—	
H20 (2008)	4,159	/	12,684 (23,447)	3,197	/	—	—	
H21 (2009)	3,859	/	7,348	2,533	/	50 (55)	233 (780)	
H22 (2010)	3,049	3,726	9,586 (20,880)	2,889	171	39 (62)	432 (1,647)	
H23 (2011)	5,055	2,984	9,302 (22,413)	2,550	41	37 (89)	277 (1,306)	

一般市民への貸出冊数



県内公共図書館への貸出冊数





## 人事異動

〈平成23年4月1日～平成24年4月1日〉

異動区分	発令年月日	氏名	現職	異動内容
勤務命令	23.7.1	浅岡宏信	情報図書館課係長(電子情報主)	情報図書館課係長(医学分館主)
〃	〃	福島正徳	情報図書館課係長(医学分館主)	情報図書館課係長(電子情報主)
〃	23.10.1	白武由里	図書・雑誌主	利用サービス主
〃	〃	宮地芳子	利用サービス主	図書・雑誌主
定年退職	24.3.31	松尾康和	事務センター(医学部)(再雇用)	情報図書館課係長(総務主担当)
併任継続	24.4.1	稲岡司	附属図書館長	附属図書館長
併任	〃	田中恵太郎	附属図書館副館長	
昇任	24.4.1	木村伸子	情報管理課長(情報企画室長)	情報図書館課副課長
〃	〃	福島正徳	情報図書館課副課長	情報図書館課係長(医学分館主)
配置換	〃	中島豊彦	情報図書館課係長(総務主)	学務部学生生活課係長(奨学金主)
勤務命令	〃	三浦聡子	情報図書館課係長(医学分館主)	情報図書館課係長(図書・雑誌主)

## 図書館日誌(行事・会議・研修等)

## 平成23年

- 4月1日 図書館情報誌「さらり」3号発行
- 4月21日 第41回九州地区国立大学図書館協会総会  
(当番館:佐賀大学附属図書館 於:グランデはがくれ)
- 4月22日 第62回九州地区大学図書館協議会総会  
(当番館:佐賀大学附属図書館 於:グランデはがくれ)
- 5月20日 平成23年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会  
(理事館:福岡情報大学・福岡女子短期大学図書館 於:九州国立博物館)
- 6月10日 平成23年度特別啓発研修(全9回)  
～11月24日 (於:菱の実会館多目的室)
- 6月16日 第58回国立大学図書館協会総会  
～17日 第7回国立大学図書館協会マネジメント・セミナー  
(当番館:広島大学附属図書館 於:グランドプリンスホテル広島)
- 6月20日 平成23年度佐賀大学中堅職員研修  
～21日 (於:菱の実会館多目的室)

- 6月28日 学術情報セミナー2011 in 福岡(於:九州大学附属図書館)
- 6月29日 平成23年度附属図書館運営委員会  
「平成22年度決算及び平成23年度予算(案)について」他
- 7月 3日 平成23年度九州地区国立大学法人職員採用事務系(図書業務)二次専門試験  
(於:九州大学附属図書館)
- 7月 5日 平成23年度佐賀大学リーダー研修(於:菱の実会館多目的室)
- 7月 7日 平成23年度附属図書館医学分館運営委員会  
「平成22年度決算及び平成23年度予算(案)について」他
- 7月13日 ILLシステム講習会(於:九州大学附属図書館)
- 7月22日 Library Lovers' キャンペーン 2011(於:九州大学附属図書館)
- 7月27日 職場体験学習受入 佐賀清和中学校2年 4名
- 7月30日 平成23年度九州地区国立大学附属図書館ソフトバレーボール大会  
(当番館:宮崎大学附属図書館 於:宮崎大学体育館(木花キャンパス))
- 7月31日 図書館報「ひかり野」35号発行
- 8月 3日 平成23年度佐賀県大学図書館協議会総会  
(当番館:佐賀大学附属図書館 於:図書館会議室)
- 8月 8日 初任者研修企業・福祉施設等体験研修受入  
～ 9日 佐賀市立昭栄中学校 教諭 2名
- 8月23日 職場体験学習受入  
～25日 城西中学校2年 1名
- 8月24日 平成23年度北部地区研究会目録講習会(於:九州女子大学・九州女子短期大学 耕学館)
- 8月25日 佐賀大学情報化要員養成研修(Access2007基礎講座)(於:総合情報基盤センター)
- 8月26日 第1回学生選書ツアー(於:福岡市 九州国立博物館、ジュンク堂福岡店)
- 9月 2日 図書館医学分館防災訓練実施
- 9月 6日 平成23年度佐賀大学フォローアップ研修  
～ 7日 (於:菱の実会館多目的室)
- 9月 8日 平成23年度機関リポジトリ新任担当者研修  
～ 9日 (於:広島大学中央図書館)
- 9月12日 平成23年度第1回福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会  
(当番館:西九州短期大学部附属図書館 於:西九州短期大学部)
- 9月14日 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)版元提案説明会  
(於:関西大学 100周年記念会館)

- 9月15日 第4回 中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュパーソンセミナー  
～16日 (於:九州大学附属図書館)
- 9月27日 図書館本館防災訓練実施
- 9月28日 平成23年度目録システム地域講習会(図書コース)  
～30日 (於:九州大学附属図書館)
- 10月4日 平成23年度佐賀大学接遇・マナー研修(於:菱の実会館多目的室)
- 10月14日 第59回九州地区医学図書館協議会総会  
(当番館:大分大学学術情報拠点(医学図書館) 於:大分センチュリーホテル)
- 10月20日 平成23年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議  
～21日 (当番館:佐賀大学附属図書館 於:図書館会議室)
- 10月25日 平成23年度佐賀大学評価制度研修(於:鍋島地区 臨床講堂)
- 10月26日 第2回学生選書ツアー(於:福岡市 紀伊國屋書店福岡店)
- 11月 5日 平成23年度九州地区国立大学法人等テーマ別研修会  
～ 7日 (於:宮崎大学工学部総合研究棟)
- 11月15日 平成23年度大学図書館職員短期研修  
～18日 (於:東京大学総合図書館)
- 11月15日 図書館月間講演会(於:附属図書館4F会議室)  
講演会テーマ  
「現代陶芸の特質(シンプル・シャープ・クリアー・ヴァイタリティ)  
— 日展女流陶芸家・寺崎康子の場合 —」
- 11月18日 講演会テーマ  
「有田・唐津焼と私の作品」
- 11月25日 第20回九州地区医学図書館員セミナー  
(於:九州大学附属図書館 医学図書館)
- 12月8日 平成23年度九州地区国立大学附属図書館館長・事務(部・課)長会議  
(於:九州大学附属図書館)

## 平成24年

- 2月17日 大学マネジメントセミナーに関する入門セミナー  
(於:図書館会議室)
- 2月20日 佐賀大学附属図書館自己点検・評価に関わる外部評価  
(於:佐賀大学附属図書館)
- 3月 2日 平成23年度第2回福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会・総会  
(当番館:久留米工業大学 於:本館会議室)
- 3月15日 平成23年度附属図書館選書専門委員会  
「平成 24年度附属図書館蔵書整備計画(案)について」他

## 貴重書紹介

『孟子通』 (佐賀大学附属図書館小城鍋島文庫)



第二代直能の「滕」印  
(巻末押印あり)

### 解説

### 孟子通

佐賀大学附属図書館小城鍋島文庫の貴重書のなかでもとくに貴重なのがこの『孟子通』である。中国の宋代の朱熹(1130～1200)が書いた『孟子』の注釈書を、元代の胡炳文(1250～1333)がさらに注釈を加えたもの。今から約700年前の実物で我が国にはこの1冊しか現存していない。小城藩第二代鍋島直能の「滕」印があるので、いまから350年ほど前の江戸前期に小城藩で入手したものとみられる。

(地域学歴史文化研究センター長 青木歳幸)